

# 松浦河畔公園再整備基本計画（案）

令和6年2月



## 1. 計画の背景・目的

松浦河畔公園は、昭和 48 年に「市民のやすらぎの場を提供するとともに、生活環境の向上を図るため」都市計画決定し、唐津市唯一の総合公園として活用されています。近接するボートレース場は、昭和 48 年に工事着工し、昭和 50 年に 20 万本におよぶ樹木で囲んで公園化、騒音を防止し、安らぎと明るさを与える「健全娯楽のゾーン」を目指してきました。唐津市都市計画マスタープランにおいては、松浦河畔公園を「緑の拠点」として位置づけ、永続的に利用が図れるよう計画的な維持・管理を行うこととしています。

近年は、当初整備から数十年が経過しており、新たな施設のニーズが高まっています。一方で、利用率の低いボートレース場前駐車場や国際交流広場施設の老朽化が進行しています。

こうした状況を踏まえ、近接するボートレース場の施設と役割分担を行いながら、若者や子育て世代などをターゲットとし、公園に新たな機能を追加することにより、にぎわいや交流を拡大し、公園の魅力を高めるため、再整備基本計画を策定します。

### ■公園の概要

- ・所在地:唐津市原 1774 番地 1 他
- ・面積:23.8ha(開設面積)
- ・公園種別:都市公園(総合公園)
- ・開園年数:昭和 51 年 4 月
- ・都市計画決定年月:昭和 48 年 6 月



松浦河畔公園の全景



ボートレース場の施設

### ■都市計画公園等の配置状況

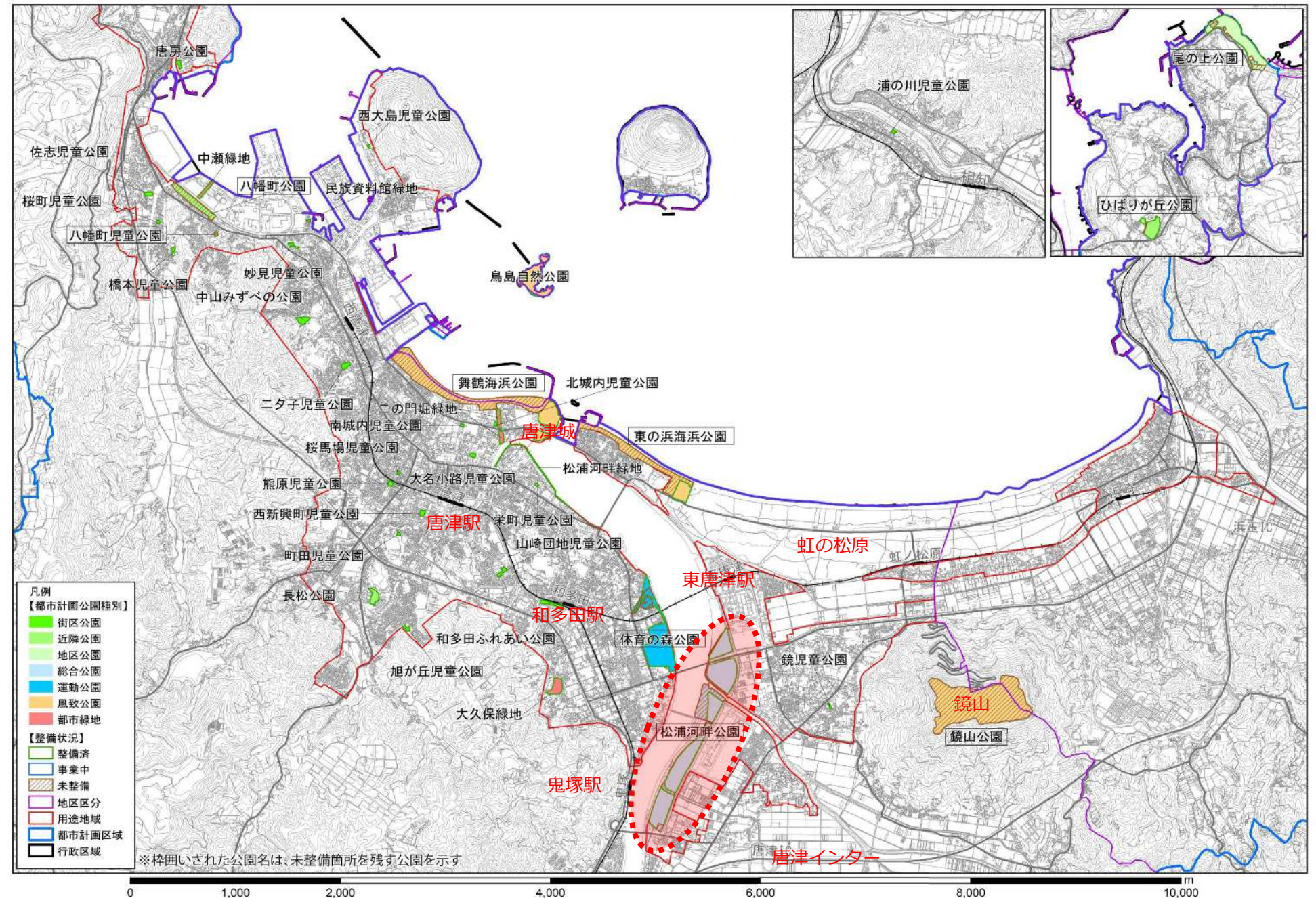


図 松浦河畔公園の位置図

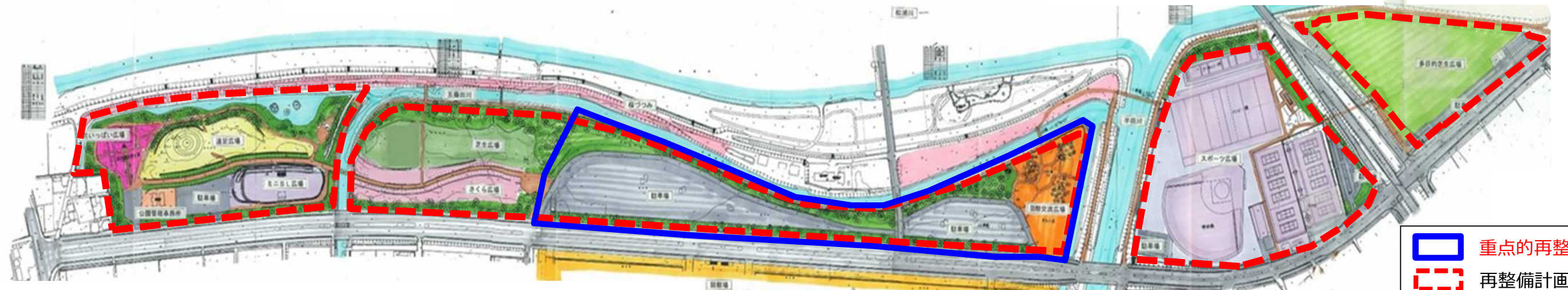


## 2. 現状の利用状況

### (1) 公園の整備内容

公園の整備内容は、ソフトボール、サッカーができる運動広場、散策が楽しめる落葉樹林、幼児が遊べる芝生公園など整備した。園内にはポプラ、クス、つつじなど約 24 種類の樹木（約 5 万株）を植樹している。その他、大きな石を組合わせた石の遊び場などに 120 個、約 5 百トンの自然石を配置している。

平成 10 年度に、サッカー場、テニスコート、アーチェリー場、野球場、管理棟、SL 広場、芝生公園、ちびっこ広場等を整備し、H12 年度～H18 年度にかけては多目的広場やテニスコート 2 面などを増設した。平成 6 年度には国際交流広場 (1.1ha)を開園している。



**重点的再整備**  
**再整備計画**

#### ■ 制約条件

- ・用途地域：第一種住居地域
- ・建ぺい率：2%



さくら広場



駐車場 (ボートレース場前)

#### ボートレース場



スケートパーク



駐車場 (テニスコート横)



駐車場 (多目的広場)

### (2) 年間利用者数

公園の年間利用者数は、コロナ禍前で約 13 万人強。

年度	公園合計	親子ふれあいゾーン	グラウンドゴルフ	遊戯施設設計	野球場	庭球場	洋弓場	ラグビーサッカー	運動施設設計
H30年度	134,178	39,673	5,148	44,821	13,762	34,612	735	40,248	89,357
R元年度	134,632	47,533	6,964	54,497	14,040	29,089	886	36,120	80,135
R2年度	110,826	36,500	8,063	44,563	6,554	24,250	918	34,541	66,263
R3年度	99,483	32,304	3,868	36,172	9,302	17,182	1,788	35,039	63,311

※多目的芝生広場、国際交流広場、スケートボード場、散策などの利用者は含まない。

### (3) 駐車場利用数

大型及び中型駐車場の利用率は低く、**管理事務所、遊具広場**駐車場は高い。

なお、**スポーツ広場や多目的広場の駐車場は満車に近い状態**である。

#### < 駐車場開閉時間 >

- ・ 9 時～19 時 (4 月～9 月)
- ・ 9 時～18 時 (10 月～3 月)

駐車場名	収容台数	令和3年5月1日から3日 (3日間) 11時から17時まで					3日間平均(約)	平均利用率
		1日	2日	3日				
管理事務所前	10	10 (4)	10 (1)	17 (7)	12 (4)	約120%		
遊具広場前	82	70 (5)	58 (21)	80 (33)	69 (20)	約84%		
競艇場前 (約)	1087	42 (4)	88 (9)	153 (38)	94 (17)	約9%		
国際広場前	312	18 (5)	17 (3)	29 (2)	21 (3)	約8%		
計	1491	140 (18)	173 (34)	279 (80)	197 (44)	約13%		
利用率		約9%	約12%	約19%	( ) は県外台数 約22%県外ナンバー			



(4) 松浦河畔公園の樹木

NO.	植物名	科名	NO.	植物名	科名	NO.	植物名	科名
1	イチョウ	イチョウ科	33	タイサンボク	モクレン科	65	アカメガシワ	トウダイグサ科
2	ヒマラヤスギ	マツ科	34	コブシ	モクレン科	66	ヒメユズリハ	ユズリハ科
3	クロマツ	マツ科	35	クスノキ	クスノキ科	67	ユズリハ	ユズリハ科
4	メタセコイア	スギ科	36	カツラ	カツラ科	68	シンジュ	ニガキ科
5	センペルセコイア	スギ科	37	ナンテン	メギ科	69	トウカエデ	カエデ科
6	コウヨウザン	スギ科	38	ガイニユパンメギ	メギ科	70	イロハモミジ	カエデ科
7	エンコウスギ	スギ科	39	サカキ	ツバキ科	71	ハナノキ	カエデ科
8	ラクウショウ	スギ科	40	ヤブツバキ	ツバキ科	72	トチノキ	トチノキ科
9	コノテガシワ	ヒノキ科	41	サザンカ	ツバキ科	73	ニシキギ	ニシキギ科
10	ヒノキ	ヒノキ科	42	カンツバキ	ツバキ科	74	クサツゲ	ツゲ科
11	ヒムロ	ヒノキ科	43	ハマヒサカキ	ツバキ科	75	サルスベリ	ミソハギ科
12	タマイブキ	ヒノキ科	44	モッコク	ツバキ科	76	ハナミズキ	ミズキ科
13	イヌマキ	マキ科	45	キンシバイ	オトギリソウ科	77	サンシュユ	ミズキ科
14	ラカンマキ	マキ科	46	イスノキ	マンサク科	78	ヤツデ	ウコギ科
15	イヌガヤ	イヌガヤ科	47	モミジバフウ	マンサク科	79	サツキ	ツツジ科
16	イチイ	イチイ科	48	シナマンサク	マンサク科	80	ドウダンツツジ	ツツジ科
17	シナサワグルミ	クルミ科	49	アジサイ	ユキノシタ科	81	ヨウシュイボタ	モクセイ科
18	ロッククヤナギ	ヤナギ科	50	ヤブサンザシ	ユキノシタ科	82	ネズミモチ	モクセイ科
19	ジャヤナギ	ヤナギ科	51	トベラ	トベラ科	83	トウネズミモチ	モクセイ科
20	ハンノキ	カバノキ科	52	カナメモチ	バラ科	84	イボタノキ	モクセイ科
21	チョウセンコナラ	ブナ科	53	ソメイヨシノ	バラ科	85	オオバイボタ	モクセイ科
22	イチイガシ	ブナ科	54	モモ	バラ科	86	オウバイモドキ	モクセイ科
23	シラカシ	ブナ科	55	スモモ	バラ科	87	タイワントネリコ	モクセイ科
24	ウバメガシ	ブナ科	56	オオシマザクラ	バラ科	88	キンモクセイ	モクセイ科
25	コナラ	ブナ科	57	バクチノキ	バラ科	89	ヒイラギ	モクセイ科
26	ク リ	ブナ科	58	コデマリ	バラ科	90	シナレンギョウ	モクセイ科
27	クヌギ	ブナ科	59	ヒマラヤシャリントウ	バラ科	91	コムラサキ	クマツヅラ科
28	エノキ	ニレ科	60	シャリンバイ	バラ科	92	オオデマリ	スイカズラ科
29	ケヤキ	ニレ科	61	タチバナモドキ	バラ科	93	ハナツクバネウツギ	スイカズラ科
30	アキニレ	ニレ科	62	カリン	バラ科	94	ニワトコ	スイカズラ科
31	シキミ	モクレン科	63	アメリカデイコ	マメ科	95	ハコネウツギ	スイカズラ科
32	ハクモクレン	モクレン科	64	ネムノキ	マメ科	96	カナリーヤシ	ヤシ科

- ・松浦河畔公園の樹木は、松浦川からの北西の風よけや日陰、緑の拠点となっている。
- ・ブナ科の樹木は、地域の子供がどんぐり拾いに来ている。また、保水能力が高い。
- ・カエデ科の樹木は、地域住民が紅葉を見に来ている。

(5) 花いっぱい広場の状況～市民協働へ

公園内にある花壇等は、維持管理費がなるべくかからないように運営されてきたが、その分、活用がなされていない状況であった。そこで、令和5年からは、公園の美化や環境教育の一環で、幼稚園や保育園など、市民協働で花壇を耕し、花の種や球根を植え、公園の花壇を活用しはじめている。



【市民協働の活動】

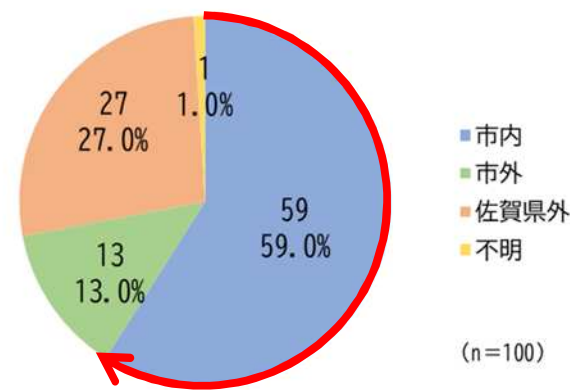


(6) 利用者アンケート調査

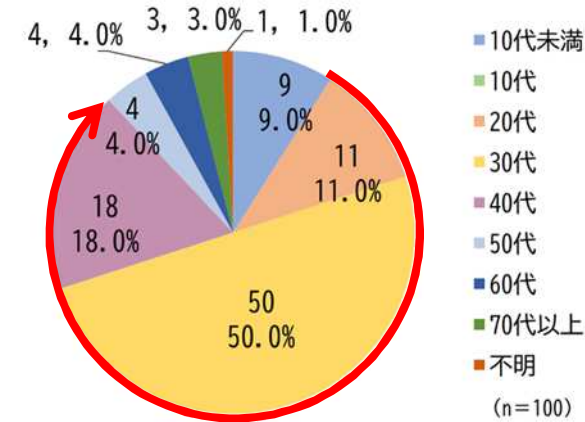
- ・遊具利用者の居住地は約6割が唐津市内であり、20~40代の子育て世代が約8割となっている。満足度は比較的高い。
- ・近隣学校調査結果より、遊具の増設、屋外バスケットコート、トイレ、滑り台、アスレチック、休憩所等のニーズが比較的高い。

① 遊具利用者調査（対象者：施設利用者 100名）

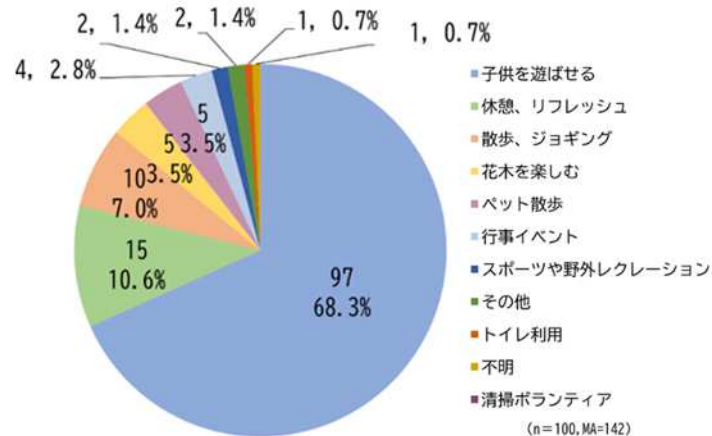
▼居住地域



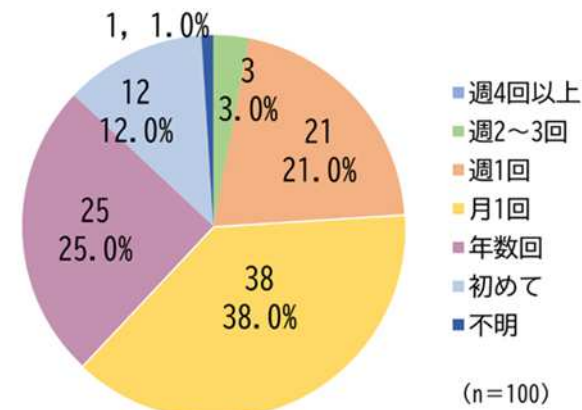
▼年齢



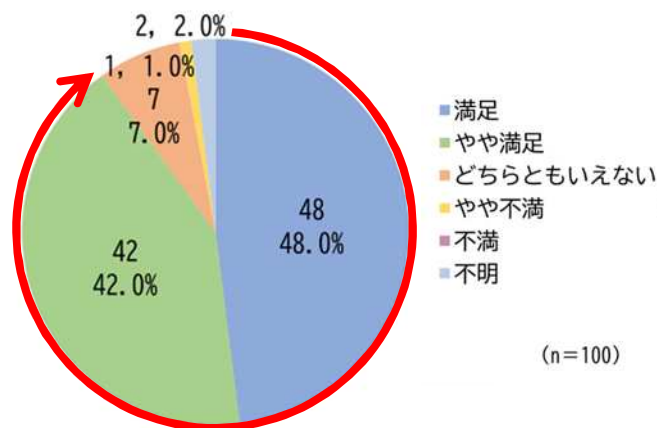
▼利用目的



▼利用頻度



▼満足度



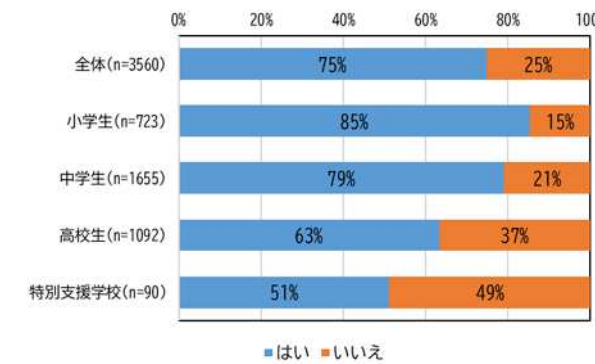
▼自由意見

- ・遊具を増やしてほしい。
  - ・屋根のある休憩所がほしい。
  - ・トイレを新設してほしい。
  - ・駐車場スペースを拡張してほしい。
  - ・定期イベントを開催してほしい。
- 等

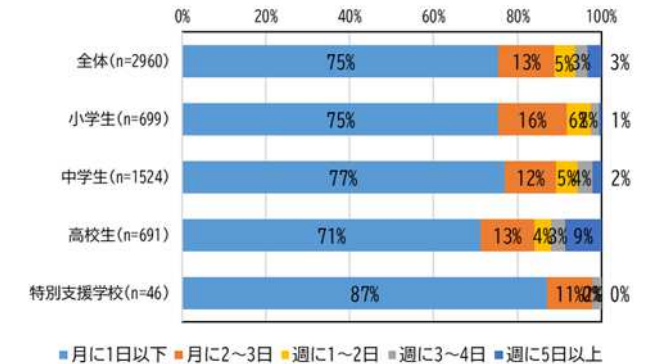
② 近隣学校調査（R3年9月、R4年6月）

調査対象：東唐津小（5,6年）、鏡小（5,6年）、久里小（5,6年）、鬼塚小（5,6年）、成和小、外町小、大志小、長松小、一中、五中、鏡中、鬼塚中、唐津東中、唐津東高、唐津工業、特別支援学校 計3,560名回答

▼過去2年間の利用状況



▼利用頻度



▼整備して欲しい施設や設備（自由記述）

順位	整備してほしいもの	要望数	順位	整備してほしいもの	要望数	順位	整備してほしいもの	要望数
1	遊具全般	358	16	トランポリン	44	27	動物ふれあい施設	16
2	屋外バスケットコート	306	17	野球場	44	28	自動販売機	15
3	トイレ	242	18	芝生広場	41	29	池	15
4	滑り台	177	19	ベンチ	38	30	バトミントンコート	14
5	アスレチック	128	20	飲食店（レストラン、中華等）	34	31	ターザンロープ	14
6	休憩所（四阿等）	122	21	カフェ	30	32	コンビニ	14
7	サッカー場	91	22	園路	30	33	照明灯	11
8	駐車場	83	23	駐輪場	23	34	卓球場	11
9	プール	81	24	小川	21	35	手洗、給水機	11
10	テニスコート	70	25	体育館	20	36	筋トレ施設	10
11	スケートボード場	67	26	屋内遊び場	20	37	転落防護柵	10
12	売店、露店等	65	27	遊園地	20	38	ゴーカート	9
13	ブランコ	56	28	ドッグラン（ペットエリア）	19	39	イベント場	8
14	ジェットコースター	53	29	広場	19	40	WiFi	8
15	キャンプ場	52	30	ボルダリング	19	41	バッティングセンター	7
	水遊び場（ポンプジェット等）	52	31	花、花壇	17	42	アーチェリー場	7
	草スキー場	49	32	観覧車	16	43	ミニSL広場	7

(7) その他（ポテンシャル（潜在能力ほか）

- ・隣接しているポートルース場はリニューアル後、利用者が増加傾向（誘致圏域 30km 程度）。
- ・松浦川沿いでのウォーキングやジョギングをしている方が多い。
- ・スポーツ施設（テニス、野球、サッカー、洋弓、ボート場）が周辺にあり、スポーツ利用者が多い。
- ・遊具広場は、親子連れでの利用者が多い。特に SL 広場は小型機関車を走らせており人気がある。
- ・公園内に井戸（2箇所：花いっぱい広場、遊具広場）があり、井戸水を活用可能。※水路の流水に利用

### 3. 課題

#### (1) 公園利用促進の観点からみた課題

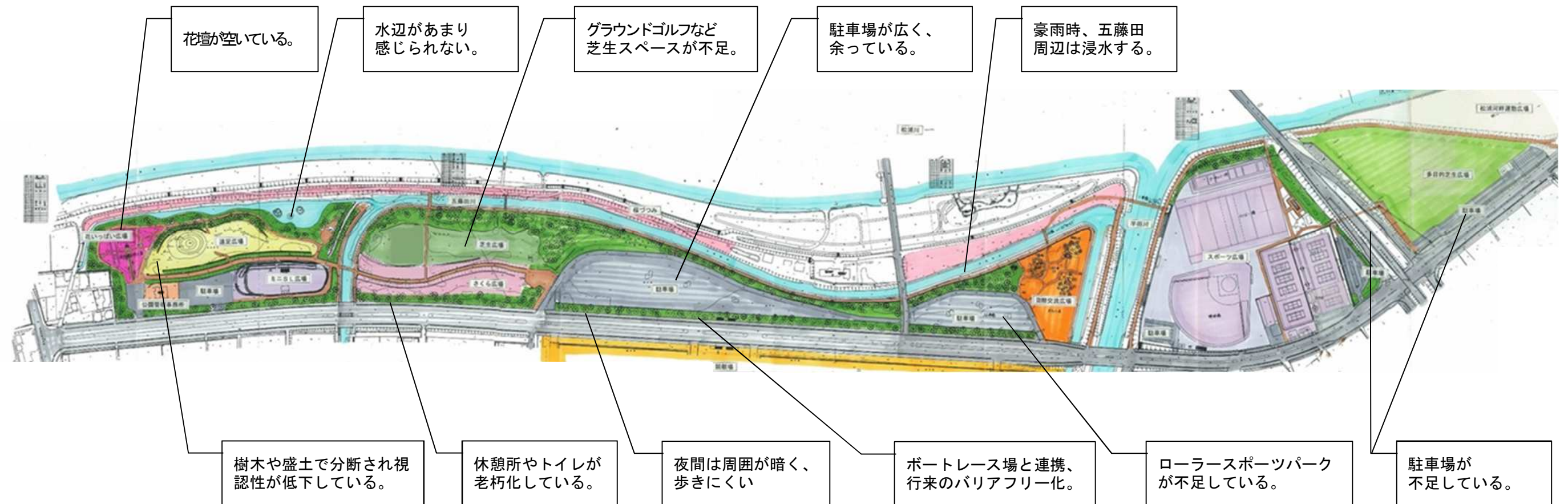
- ・ボートレース場周辺の駐車場は空いているが、スポーツ広場周辺の駐車場は大会時いっぱいになる。
- ・ボートレース場前駐車場や国際交流広場の利用率が低い。
- ・駐車場や休憩所や便所が老朽化している。
- ・周辺地域は豪雨時に、五藤田川が半田川の満水により流れず、周辺地域は内水により冠水が危惧される。
- ・ボートレース場との連絡通路である地下通路が階段での使用のため、障がい者、高齢者、ベビーカー利用者などが利用しづらい。
- ・ボートレース場からボートレース場前駐車場への正面からの車両の出入口がない。
- ・公園内の池、水路または、際を流れる五藤田川は親水機能、遊水機能ともに不足している。
- ・公園周辺に照明灯がなく、夜間の動線確保や防犯上で危険である。
- ・公園内が盛土や樹木で分断しているため、園内の見通しが遮られており、視認性や回遊性が低下している箇所がある。

#### (2) 公園機能の観点からみた課題

- ・緑の拠点として、既存樹木はできるだけ残し、保全や移植に努める必要がある。
- ・近年の豪雨による浸水リスクを低減するため、公園のもつ雨水貯留浸透機能を確保することが必要である。
- ・浸水対策の取り組みとして、グリーンインフラによる貯留浸透機能の強化が必要である。
- ・イベントの実施等、市民協働の活動の場の整備が必要である。

#### (3) 公園施設維持管理・運営からみた課題

- ・再整備事業に必要な資金調達（初期投資や維持管理費等）が必要である。
- ・公園施設増により、現状より維持管理費の増大が想定される。
- ・公園管理者の財政負担を軽減が必要であり、都市公園の質の向上、公園利用者の利便の向上を図る新たな整備・管理手法（公募設置管理制度）の導入検討も必要である。
- ・民間事業者との効果的な連携による公園・緑地の管理運営の仕組みづくりが必要である。





#### 4. コンセプト・ゾーニング



### コンセプト「ニュー・スタンダード・ボーダレス・パーク」～松浦河畔公園の新たな日常・習慣の創造～

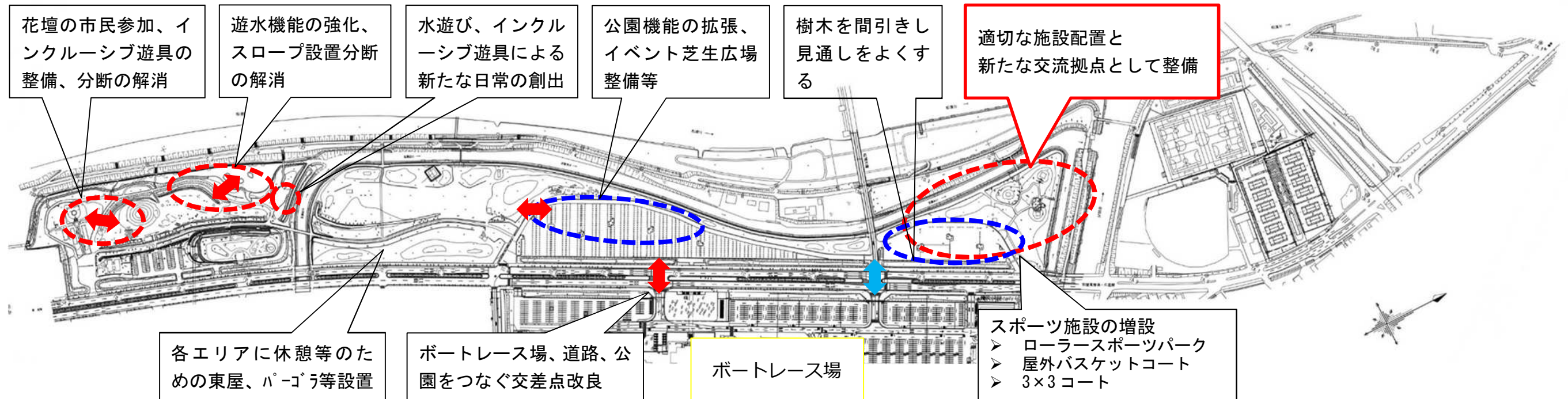
○ニュースタンダード：ウォーターフロント（河畔）のトップランナーとして、新しい日常と習慣を提唱。  
 ○ボーダレス：各水辺（川・水路・ボートレース場）や、各施設や周辺機能が繋がり、境目のないシーンを構築。  
 ○パーク：設立当初に描いた夢や国際交流の文脈を大切にしながら、未来の松浦河畔公園のあるべき姿を再定義。  
 松浦河畔公園の新たな日常・習慣の創造、松浦河畔公園がもつ「国際交流」の背景や、「水辺」を抱える性質、そして「ボートレース場」とともに開設された歴史や文化を包含し、エリア全体で切れ目なく一体として感じられる公園へと再整備を行います。  
 エリア全体の一体感と、わかりやすく共感を呼びやすい新たな風景やシーンを生み出すために、各ゾーンや各施設に、スポーツ・カルチャー・アート・フードなどの新たなノンバーバル要素を付与することで、だれもが利用・交流・活躍できるボーダレスな公園をつくり、境界や施設機能の枠を越えた、多様な人材の交流や活動を生む唐津ならではの河畔エリアへの変貌を目指します。

A 公強化エリア	B 公民連携エリア	直営エリア	C 公民連携エリア
<p>【公設公営】リバーサイドゾーン</p> <p>水辺空間を活かした親水スペース。水辺を眺めながらゆっくり滞在できる空間や、子どもたちが浅瀬で遊べるように整備。</p> <p><b>AFTER</b></p>  <p>【公設公営】インクルーシブ遊具ゾーン</p> <p>インクルーシブ遊具で子どもの興味関心やアクティビティを促進。</p> 	<p>【公設公園】芝生広場</p> <p>遠足広場、さくらまつりやグラウンドゴルフに利用されている機能を拡張する。グリーンインフラの機能が高い。</p>  	<p>【公民連携】ウォーターフロントゾーン・ニュースポーツゾーン</p> <p>国際交流広場×ニュースポーツの新メッカ・ボートレースとの新連携。新たな解釈により国際交流広場をニュースポーツの新メッカへ変貌。国際交流広場に相応しく英語表記を主体に、世界中のスポーツ愛好家がボーダレスに交流できる拠点へ。</p> <p><b>AFTER</b></p>  <p>民活イメージ</p>  <p>アーバンスポーツ等の運営、コンテナショップ運営、キッチンカー営業、ボートグッズのアンテナショップなど</p>	<p>【公設公営】既存スポーツゾーン</p> <p>各スポーツを通じたコミュニティにおいてコミュニケーション量を増やすことでのリアルでの交流の価値を増加。</p>   <p>【公民連携】アウトドアフィールドゾーン</p> <p>自由に駆け回るアウトドアフィールド。地モノを楽しめるレクリエーション施設へ。</p> <p><b>AFTER</b></p>  <p>イメーシ</p> <p>民活イメージ</p> <p>ショップ、カフェ、イベントサイト、BBQ（デイキャンプ）サイト</p>



5. 再整備の方向性、導入機能・施設メニュー

(1) 再整備の方向性 (イメージ)



(2) 導入機能・施設メニュー

エリア名		現状施設・機能	再整備施設・機能	備考欄
リバーサイドゾーン	遊水池	水路、ポンプ井戸、遊水池機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 園路改修、広場整備、水浴び場整備、芝生整備</li> <li>&gt; 池の掘削（大雨時、遊水量増加を想定）、石の撤去・再配置</li> <li>&gt; ポンプ井戸の改修、樹木間引き</li> </ul>	※貯留浸透機能の確保
インクルーシブ遊具ゾーン	花いっぱい広場	ベンチ、藤棚	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 腐葉土コンポスト</li> </ul>	
	遊具広場	複合遊具、ベンチ、トイレ	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 園路改修、芝生整備</li> <li>&gt; インクルーシブ遊具の導入</li> <li>&gt; 樹木間引き</li> </ul>	※貯留浸透機能の確保
	SL 広場 遊具広場前駐車場	遊具、野外卓 駐車場	— <ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 中央分離帯改良、照明灯設置</li> </ul>	※R5 に駐車場整備済み
芝生広場	芝生広場	芝生広場、倉庫、ベンチ、東屋	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 東屋新設</li> <li>&gt; 芝生広場の拡張（樹木間引き）</li> </ul>	※障害物・植栽等の撤去、除去 ※浸透機能の確保
	さくら広場	さくら広場、桜並木道、便所	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 照明灯設置</li> </ul>	
ウォーターフロントゾーン	ポートルース場前駐車場	駐車場 ※ポートルース場からの入口なし、交差点と駐車場入口の線形不良 ※照明灯なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 園内道路の新設（キッチンカースペースを含む）、散策路の新設</li> <li>&gt; イベント芝生広場整備、駐車場の見直し</li> <li>&gt; 交差点改良 ※ポートルース場から公園内へ車両入口の確保</li> <li>&gt; 照明灯設置、樹木間引き</li> </ul>	※浸透機能の確保
ニュースポーツゾーン	国際交流広場前駐車場	簡易スケートパーク、駐車場、便所	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 園路改修、散策路の新設、広場整備、駐車場の見直し</li> <li>&gt; 屋外バスケットコート、3×3コート、便所、シャワーロッカー</li> <li>&gt; 照明灯設置、樹木間引き</li> </ul>	※浸透機能の確保
	国際交流広場	国際交流広場（東屋・ベンチ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 散策路の新設</li> <li>&gt; ローラースポーツパーク、起伏を活かしたローラースポーツパーク</li> <li>&gt; 樹木間引き</li> </ul>	
既存スポーツゾーン	スポーツ広場	駐車場、野球場、サッカー場、テニスコート、弓道・アーチェリー場、トイレ	—	※R5 に駐車場整備済み
アウトドアフィールドゾーン	多目的芝生広場	多目的芝生広場、東屋、ベンチ、駐車場、トイレ	—	※R5 に駐車場整備済み



6. 再整備<全体計画>

【公設公営】  
リバーサイドゾーン  
じゃぶじゃぶ池/親水遊具

子供から大人まで日常的に集うエリア

子供から大人まで日常的に集うエリア・子供が遊べるじゃぶじゃぶいけ/水を使った親水遊具を配置。



出典：イギリスとアメリカの公共空間  
マネジメント：公民連携の手法と事例



【公民連携】  
ウォーターフロントゾーン  
ポップアップショップ/ボート/キッチンカー

ボートレース場から松浦川へシームレスに繋がるウォーターフロントゾーン

仮設建築を中心にボートレースのアンテナショップ/キッチンカーなど季節や曜日、開催に応じて賑わうポップアップショップ/ボートレース場の正面から直接入ることができる平面交差点を計画し、バリアフリー化/既存の芝生広場を拡張、イベント広場、キッチンカースペース、また臨時駐車場としての機能は確保。



【市民協働】  
花いっぱい広場（ネイチャースタディーゾーン）  
花壇

市民協働の環境学習

市民協働による花壇や落ち葉の活用などの環境学習の場所を確保



【公設公営】  
インクルーシブ遊具ゾーン  
健康遊具/ベンチ/インクルーシブ遊具

大人も楽しめるような健康遊具

こどもの創造を育むインクルーシブ遊具の導入





### お試し出店やマルシェなど

ニュースポーツ・音楽と相性のよい、カフェ&バー、ショップ、スクール等のカルチャーシーンを導入。お試し出店マルシェやキャンプなどを検討。



### 国際交流広場の丘陵を活かしたニュースポーツの導入

既存スケートボードパークの機能や丘陵形状を活かし、新たなアーバンスポーツ機能を追加。出展者等のカフェと連動し、利用者同士の交流を促進する拠点を目指す。



出典：SHIGEYOSHITAKEE PHOTOGRAPHY  
<https://www.shige.com/venicebeach>



【公設公営】  
既存スポーツゾーン

### 【公民連携】 ニュースポーツゾーン

ローラースポーツパーク、屋外バスケットコートなどを新設

### 平地を活かしたスポーツ&音楽の融合

ニュースポーツの裾野を広げる場として、施設を平地に配置。ニュースポーツの交流拠点として求心力をもった拠点を目指す。



### 【公民連携】 アウトドアフィールドゾーン

多目的芝生広場

### 多目的に活用できる芝生広場



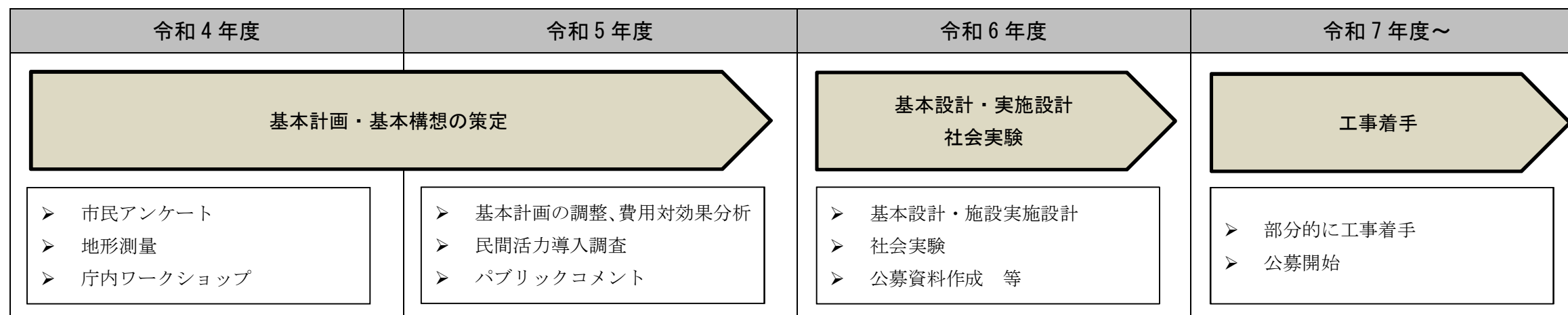


7. イメージパース (本パースはイメージになります。レイアウト等は今後調整の上変更になる可能性があります。)





## 8. スケジュール（予定）



## 9. 整備・運営方針の検討

現地調査、各ヒアリング、企業からの提案等を元に、当施設において事業化手法の検討及び事業化にあたり民間活力導入の可能性について検討した。ゾーンごとに公園のあるべき姿をイメージし、地元・物販・宿泊及びアウトドア系の企業、ニュースポーツ関連企業、ボートレース場関連団体、遊具・公園系企業にヒアリングを行ったところ、活用や運営に関して興味を示す事業者が多いことが判明した。大規模な公園であることから、ゾーン毎にエリアを絞り、それぞれのエリアにおいて、整備・運営方針を検討した。（下表参照）

当事業においては、共通したコンセプトのもと、公設公営、公設民営、民設民営を柔軟かつバランスよく組み合わせ、ナショナルチェーンや域外事業者ではなく、唐津市や佐賀県の地元民間企業と連携することで、持続可能な経営体制や時代のニーズに合わせた柔軟な変更を行える余剰を残した上で、域内経済の活性化、雇用の創出、移住者の誘引や住民満足度の向上が期待できる。

### ■ゾーンごとの整備・運営方針

ゾーン名称	リバーサイドゾーン ネイチャースタディゾーン	芝生広場	ウォーターフロントゾーン ニュースポーツゾーン	既存スポーツゾーン	アウトドアフィールドゾーン
	インクルーシブ遊具ゾーン				
既存	遊具広場、花いっぱい広場など	芝生広場、桜広場	駐車場・国際交流広場	スポーツ施設	多目的芝生広場
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊具、乗り物（SL）</li> <li>親水空間</li> <li>花植え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>芝生広場での遠足、ピクニック、花見</li> <li>グラウンドゴルフやヨガなどアクティビティイベントなどの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスケット/3×3、ローラースポーツパークを中心としたニュースポーツコート</li> <li>マルシェ、ショップ、カフェ、物販</li> <li>キャンプ など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ施設（野球、サッカー、テニス、アーチェリーなど）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多目的な活用</li> <li>アウトドア</li> </ul>
整備方針	公設	公設	公民連携	公設	公営、公民連携
運営方針	公営、市民協働	公営、市民協働	設置管理許可	指定管理	公営、設置管理許可



## 【参考資料】

### ①上位・関連計画（唐津市都市計画マスタープラン）

#### (1) 基本方針

##### 基本的な考え方・取り組みのポイント

住んで楽しい、安心して生活できるまちづくりを進めていくためには、市民に身近な生活環境の向上が必要不可欠です。公園・緑地はその重要な要素であり、そのためにも身近な公園の整備・充実などの現状の課題解決とともに、地域の魅力を活かした公園整備など、将来に向けた公園・緑地の整備を進めていくことが必要です。

特に本市においては、都市公園だけでなく、玄海国定公園や天山、八幡岳、脊振北山県立自然公園をはじめとする美しく豊かな自然や、日本農村の原風景である田畑や雑木林などの里地里山が豊富に存在することから、これら地域特性を活用した公園・緑地整備も、個性ある地域づくりのためには重要です。

このようなことを踏まえ、以下の基本方針により、公園・緑地の整備・誘導・保全を進めていきます。

##### 基本方針

###### ○公園・緑地の適正配置（量的充足）

公園・緑地は、市民生活において身近な憩いの空間として、災害時には避難場所として、また近年においては環境負荷の低減要素としてその役割は重要です。このため、地域の緑の拠点となる広域的公園の配置、および身近な公園が不足している地域への新たな公園整備を進め、適正配置に努めます。

###### ○公園・緑地の機能向上、維持・管理・運営への市民参加（質的充足）

公園・緑地整備にあたっては、ユニバーサルデザインの導入を図るとともに、既設公園については、施設の老朽化、利用者ニーズの多様化等を考慮し、機能更新などの再整備とともに、整理・統合などの再編も検討します。また、公園・緑地の維持・管理・運営について日頃から利用する市民が参画できるような体制づくりも検討していきます。

###### ○豊かな自然と共生する魅力あるまちづくり

ゆとりと豊かさを実感できる空間づくりのため、公園以外の緑の要素として、玄海国定公園や県立自然公園に指定された本市の骨格を形成する海、山、川や、田畑や雑木林等の里地里山など、現存する緑を積極的に保全・育成するとともに、宅地内緑化など市民参加も促すことにより、みどり豊かな空間形成に努めていきます。

#### (2) 先導的まちづくり構想を受けての留意点

公園・緑地の整備にあたっては、上記の基本方針とともに、先導的まちづくり構想を受けて、以下のような視点に留意しながら進めていく。

##### 観光交流まちづくり

- 観光・交流資源など、地域の特色を活かした公園整備を進め、**市民だけでなく、観光客にも楽しめる空間づくり**を進めていきます。

##### 水と緑の景観まちづくり

- 松浦川沿川の景観形成を先導的に行う一環として、河畔公園や遊歩道、親水空間の整備など、**松浦川を軸とした公共空間（グリーンインフラ）整備**を先導的に進めます。

##### 市民協働のまちづくり

- 計画段階からの住民参画や、宅地内緑化への市民の取り組み、維持管理など、**公園・緑地整備に関する市民協働の取り組み**を積極的に進めていきます。

#### (3) 公園・緑地の整備・誘導・保全の方針

##### ■緑の拠点の配置

- 「緑の拠点」は、自然とのふれあいや地域住民同士のスポーツ等を通じたコミュニケーションなど、多様なレクリエーション需要に対応していくために、地域生活圏ごとに設定し、機能充実を図ります。
- 本市全体で考えた場合、風致地区に指定されている「虹の松原」、「鏡山公園」、「舞鶴公園（唐津城）」、および「大島市民の森」を緑の拠点として位置付け、市民の憩いの空間としての維持を図ります。
- 特に国の特別名勝にも指定されている「虹の松原」については、観光資源とともに市民が親しめる身近な森として重要な「緑」であることから、国、県との連携および市民との協働により、「虹の松原再生・保全事業」を推進します。また、松原内の道路など、今後の虹の松原のあり方についても継続検討していきます。
- 中心部においては、総合公園である「松浦河畔公園」および「体育の森公園」を**緑の拠点として位置づけ、永続的に利用が図れるよう計画的な維持・管理を行います。**
- その他周辺地域においては、総合公園や運動公園、地域の特徴ある公園などを緑の拠点として位置づけ、機能充実等を図ります。



▼**国定公園、県立自然公園の保全**

- 本市の沿岸部に広がる美しい海岸線や、市南東部に広がる豊かな山林などは、本市の誇るべき美しい自然環境です。これらを後世に引き継いでいくためにも、**国定公園、県立自然公園としての指定を維持し、積極的に保全を図ります。**

▼**身近な生活圏における公園の整備**

- 市民の日常生活に密着した街区公園、近隣公園、児童遊園等については、市民からの要望も高く、誘致距離や防災面に考慮しながら適正に配置します。
- 既存公園についても、**老朽化した施設の更新**など整備水準の向上を図り、利用者の満足度、ひいては地域コミュニティの向上に寄与するよう努めます。
- また、公園整備にあたっては、**ユニバーサルデザインの導入**を図るなど、誰もが楽しめる公園づくりに努めます。

▼**既存公園の再編検討**

- 唐津地区には団地公園や児童遊園など多数の公園が分布しているものの、老朽化や小規模で使いづらいなどの理由により、あまり利用されていないところも目立ってきています。そのため、利用状況や周辺の公園配置状況などを考慮した上で、公園の再編も検討していきます。

▼**地域の特色を活かした公園の整備**

- 市民ニーズの多様化への対応や、他都市との交流拡大のためにも、松浦川、玉島川、虹の松原、立神岩などの**自然資源**や、唐津城、名護屋城跡などの**歴史・文化資源**など、本市の持つ**地域資源を活かした公園整備を推進**します。

▼**水と緑のネットワークの整備**

- 市民や来訪者が、どこを歩いても公園の中を散歩しているような安らぎを実感できるよう、幹線道路や河川沿いの植樹とともに、屋上緑化や壁面緑化など公共施設や宅地内の緑化を進めるなど、**点在する公園・緑地をネットワーク**することで、みどり豊かで快適な都市環境の形成を推進します。
- 長年人の手加わり続けることで維持されてきた田畑、ため池、雑木林などの里地里山についても、身近な自然環境であり、生活に安らぎと潤いを与えてくれる緑として積極的に保全・育成に努めるとともに、環境学習の場としても活用していきます。
- 地区計画や建築協定、緑花推進条例等を活用しながら、市民協働による緑化を推進します。

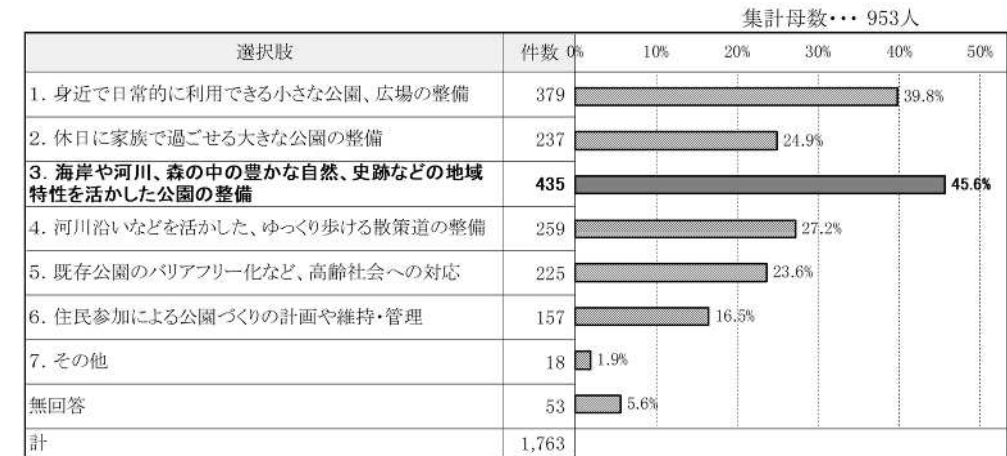
▼**環境負荷低減のための取り組み**

- 近年、温室効果ガスの排出による地球温暖化や緑地・水面の減少など、都市環境の悪化が深刻な問題となっています。地球温暖化の緩和に向けた取り組みとして、道路緑化や屋上・壁面緑化など、都市内における緑化空間の創出を図ります。

▼**市民協働による維持管理・運営**

- 地域の身近な公園は、日常の憩いの場、災害時の避難場所として地域住民と密接に関係してくるため、維持管理においても自治会やまちづくり組織などとの連携のもと、**地域住民が積極的に関わられるような仕組みづくり**を検討していきます。

【参考】市民アンケート調査結果「公園・緑地の整備について」



道しるべとなる交差点部のまとまった緑地空間



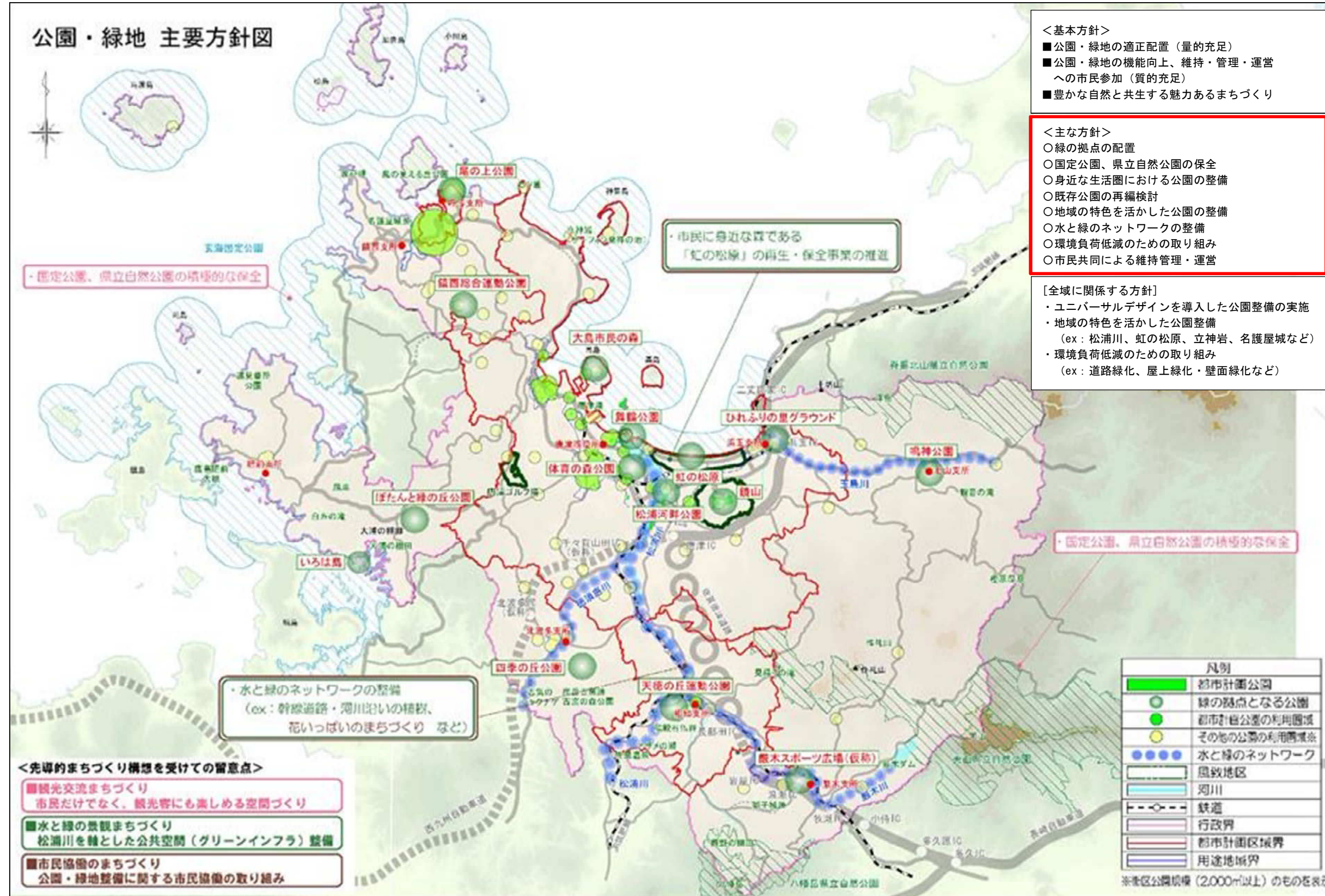
緑豊かな歩行空間

【グリーンインフラの整備イメージ】

資料：「みどり」の複合的効果とグリーンインフラの研究（神奈川県）



▼松浦河畔公園の公園・緑地に関する主な方針

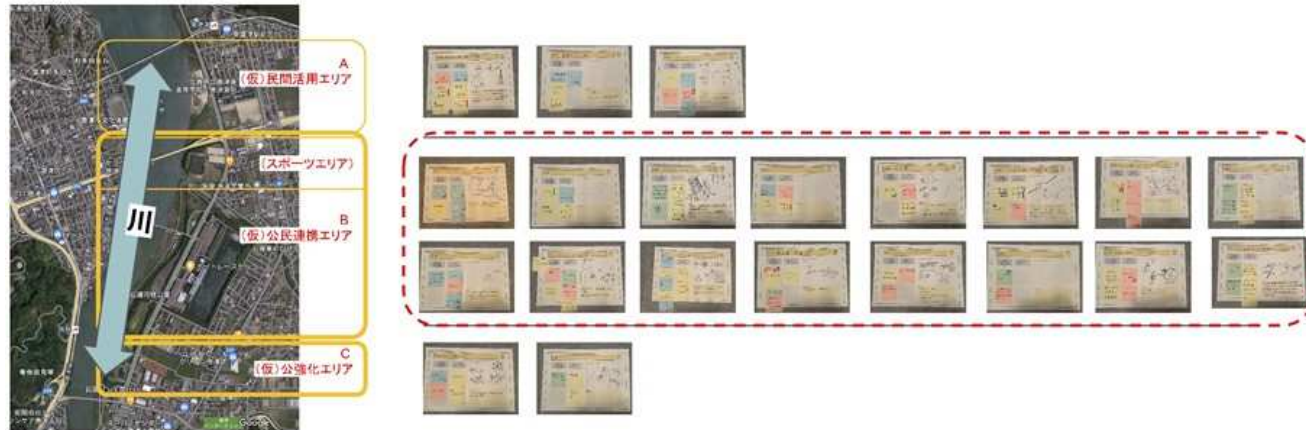




②唐津市若手職員 27名による3回の横断的なワークショップの結果

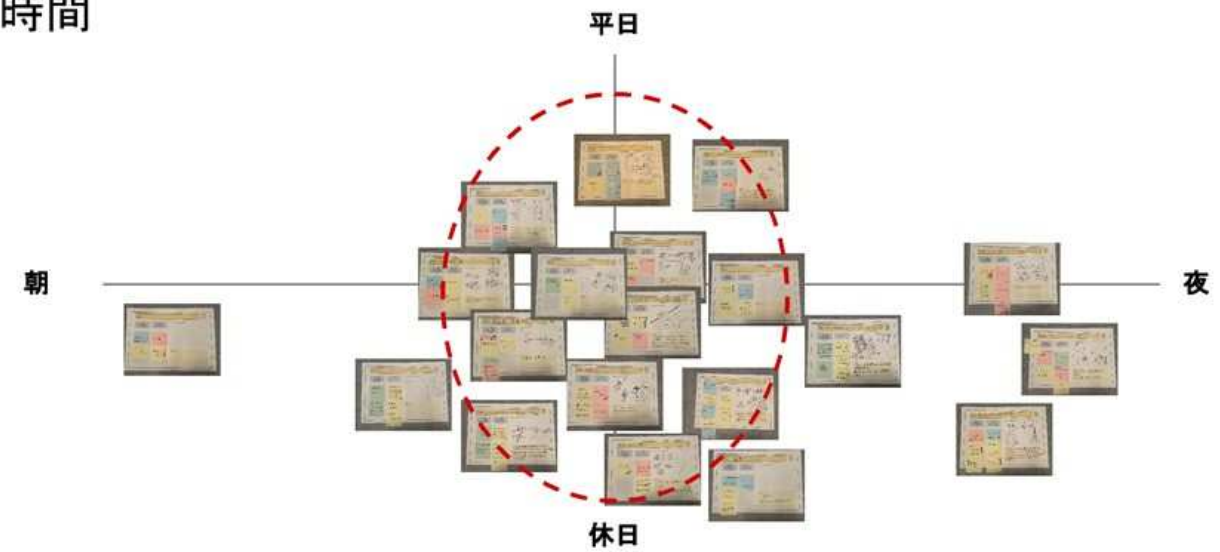
▼検討経緯

エリア



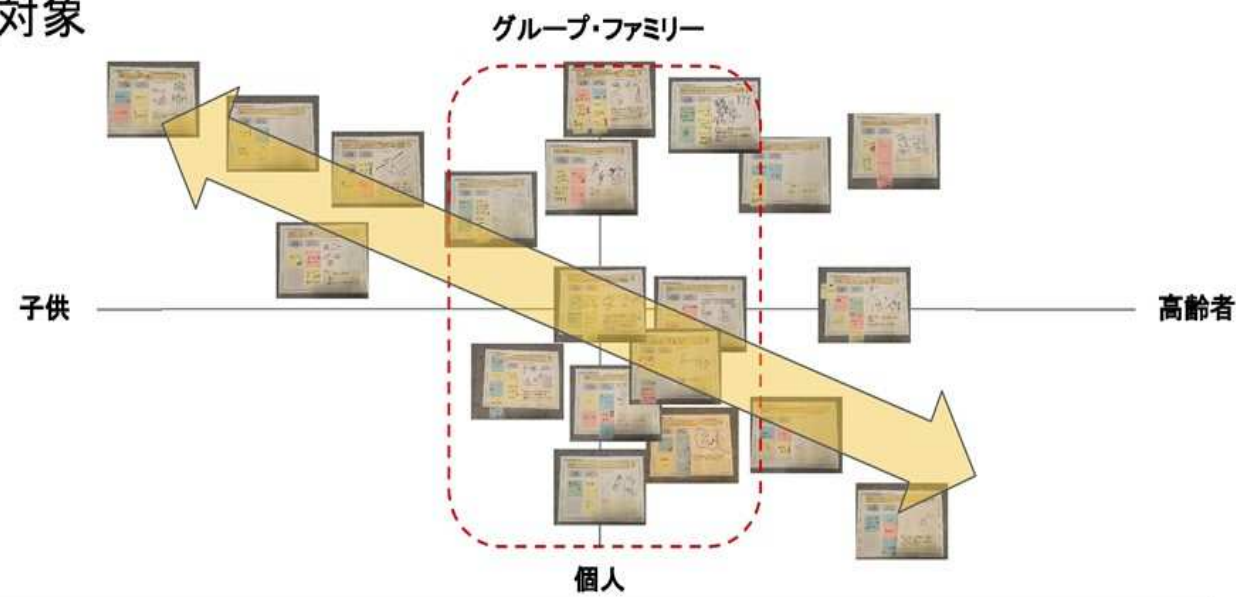
国際交流広場エリアに注目が集まる。水辺や広場といったキャッチーなキーワードが多くシンボル性が重要

時間



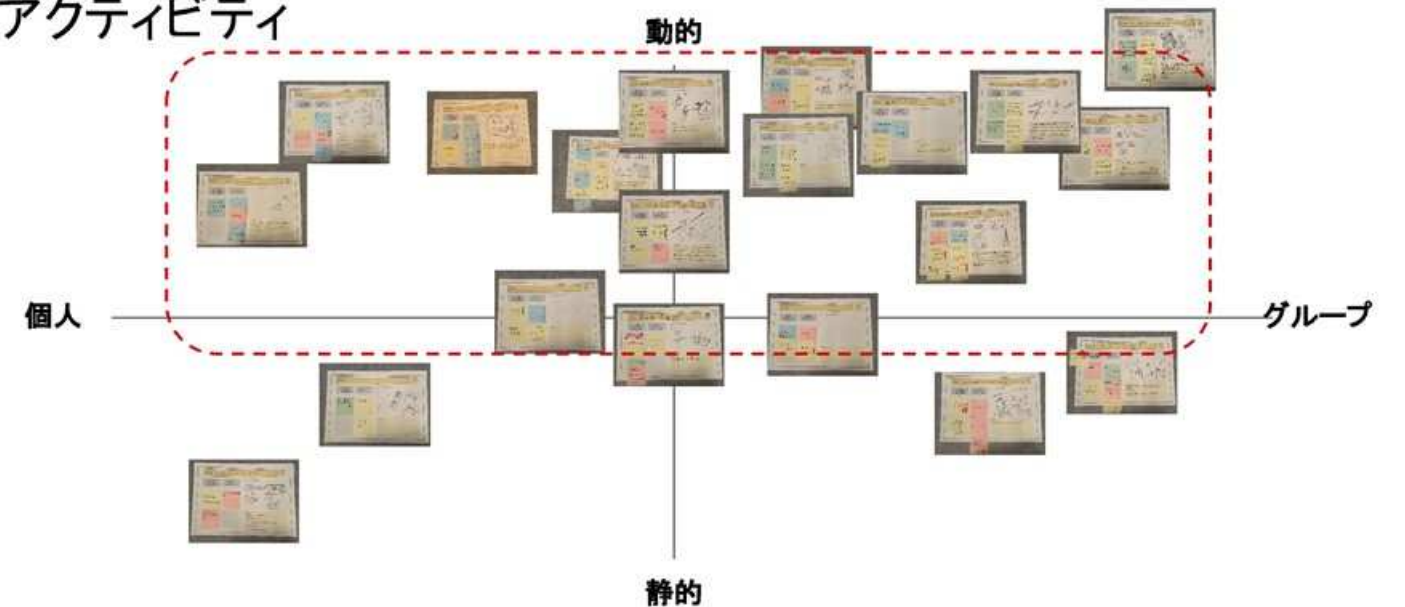
平日、休日ともに日中の時間帯のアイデアが多い。休日のみのアイデアよりは日常的にも利用できるような横断的なアイデアが多かった。

対象



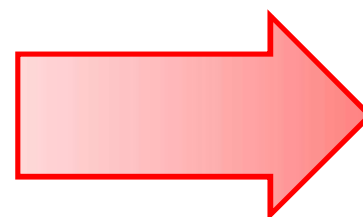
子供から大人までが一緒に使える用途が多い。個人利用よりはグループ利用が多い。特に子供はグループ、年齢が上がるにつれて個人利用が多くなる傾向。

アクティビティ



動的なアクティビティの要素が多い。グループ個人ともにアクティブな場を過ごすイメージが強い。

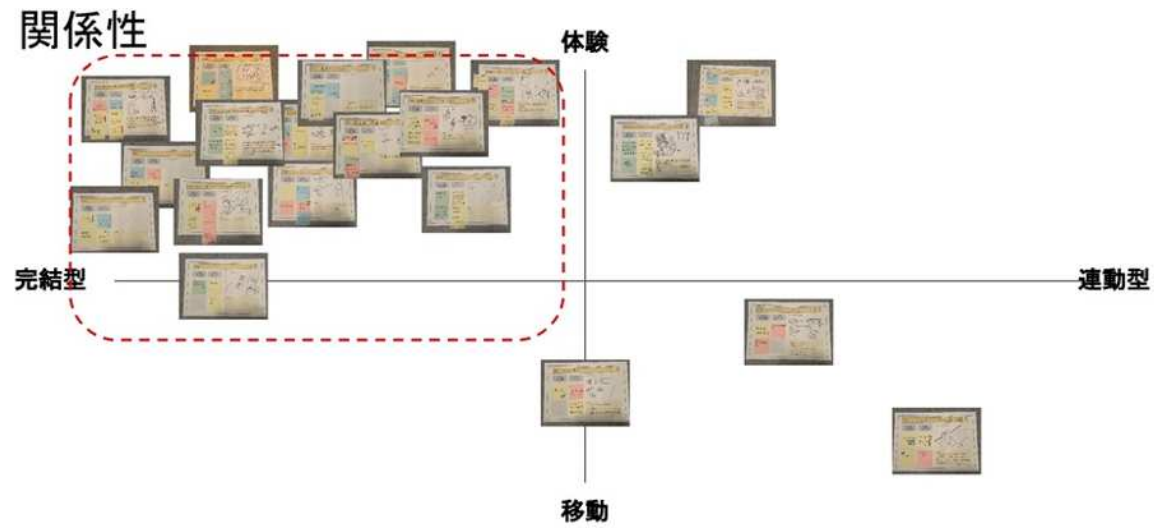
潜在的なターゲットイメージがみえてきた。



**「日常的エンターテイメント」  
が楽しめる公園(仮)**



▼周辺施設との関係性

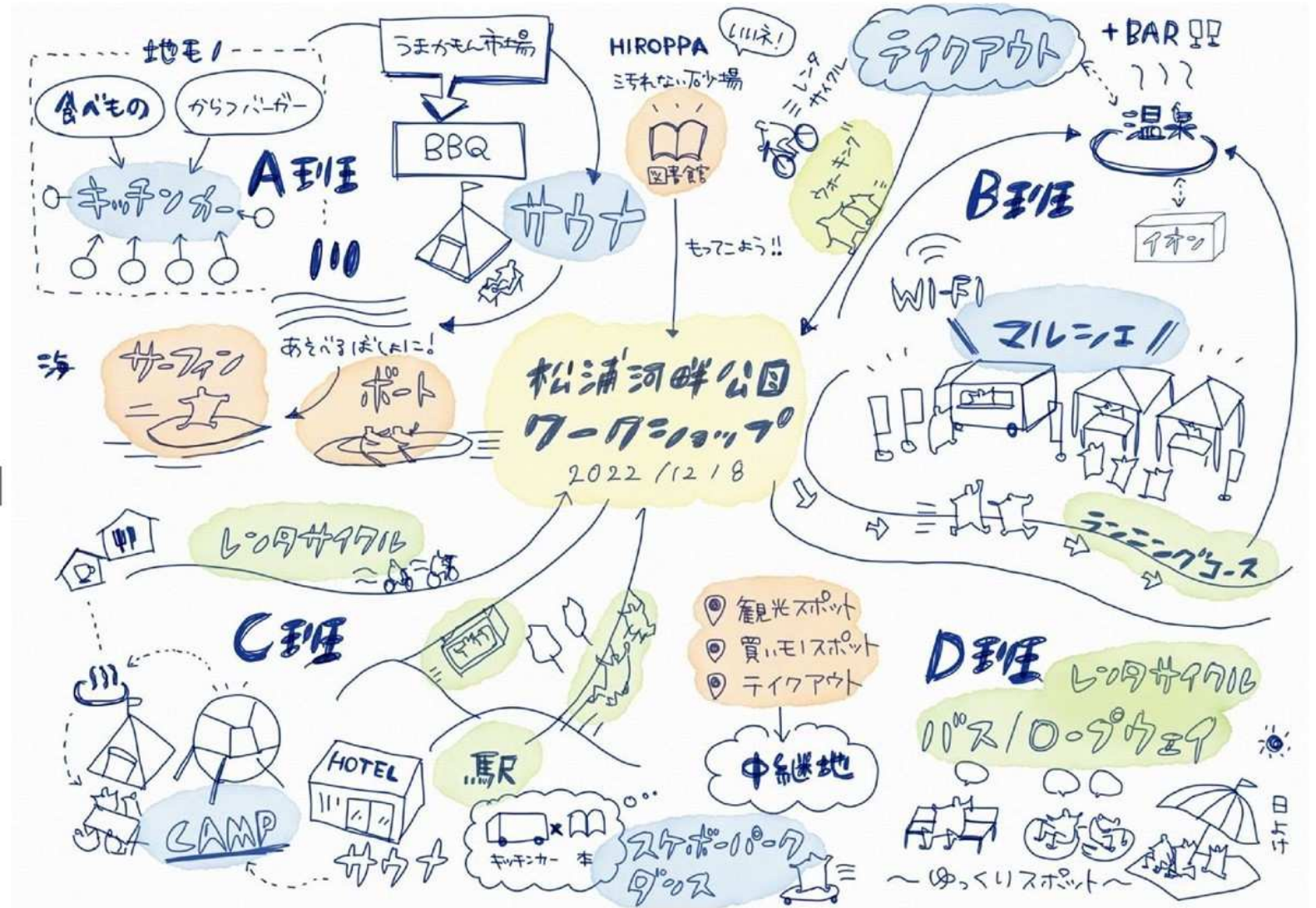


エリア内での完結型アイデアが多かった。川や移動を組み合わせると運動型になる可能性がある。

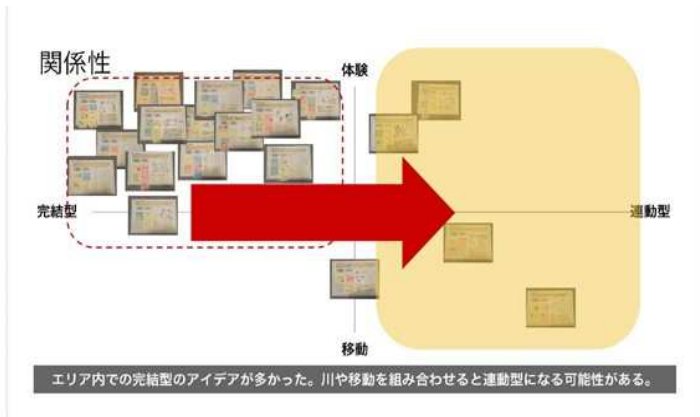


ワークショップの様子

▼周辺との関係性を含めたワークショップ結果（最終ワークショップ）



課題



周辺との関係性が現状まだ弱い。  
まちとの関係をつくることで広域での可能性がみえてきそう！





### ③ 民間活力導入可能性調査について

松浦河畔公園は、昭和48年に市民のやすらぎの場として都市計画決定され、唐津市都市計画マスタープランにおいて緑の拠点として位置付けている。松浦河畔公園の再整備に係るコンセプトを民間事業者に説明した上で、松浦河畔公園の有効活用について、民間事業者から幅広くアイデアや提案を聴取するサウンディング調査を実施し、実現の可能性、事業化に向けての課題及びインセンティブ等を把握した。

#### サウンディング結果概要

- A団体 ネットワーク力があり交流イベントを定期的に行っている。マルシェなどの交流イベントを定期的に行いたい。
  - B団体 定期的なイベントの運営ができる。子供が将来どんなスポーツをしたいなど紹介できる場としたい。
  - C団体 子供から大人までスポーツの裾野を広げる場所としていきたい。
  - D団体 スポーツの拠点をさがしている。午前中練習して、それ以外は市民が活用する場として運営できる。
  - E団体 ボートレースのグッズショップなどボートとの連携が必要である。
- その他、花壇の活用や芝生広場や駐車場のイベントでの公園の活用などの意見が多くあった。

#### サウンディング調査結果をもとにしたニュースポーツゾーン活用イメージ

- ・市民からの要望の高い屋外バスケットコートの設置
  - ・国際交流広場の起伏を活かしたローラースポーツの新コースの設置
  - ・お試し出店などが可能なマルシェの開催
  - ・自然を生かしたキャンプの体験
- 新たな機能を導入することで、市民や利用者による、にぎわいや交流を拡大する。



ニュースポーツゾーン活用イメージ

